



生きもののために できることを やってみませんか？

京都市の生物多様性プラン(2021-2030)では、2030年に向けて「社会変革に向けた仕組みの構築」という目標を掲げています。

その施策の一つとして「生物多様性に配慮した企業活動の促進」を図ることとしています。

具体的には、次のような取組を提案しています。

知ること

まずは情報を集めてみましょう！

行動すること

イベントやセミナーに参加してみましょう！

保全活動すること

従業員の方にも理解をいただき参加してみましょう！

京都市生物多様性プラン

詳しくはこちら

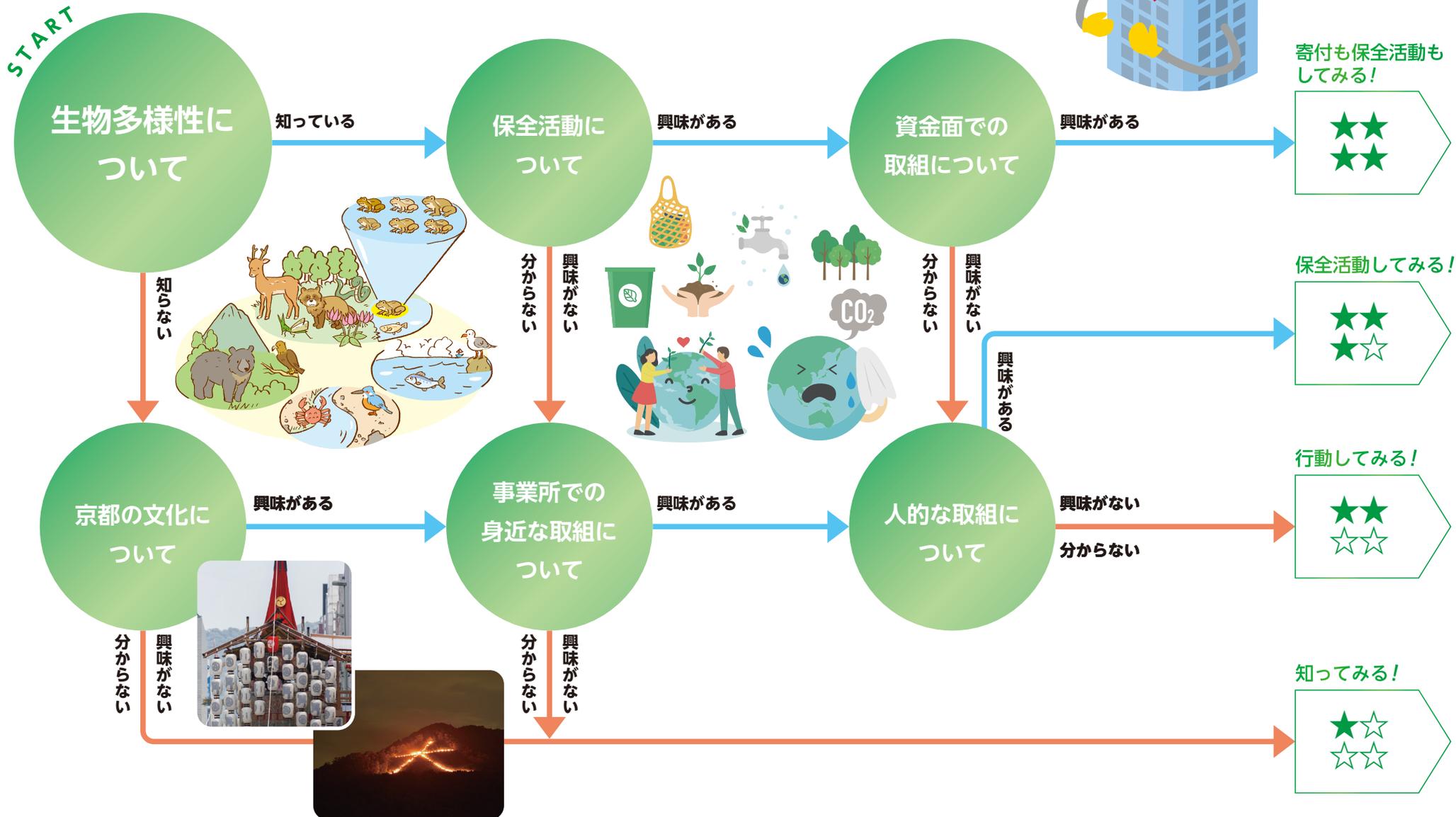
[website](#)



こうした取組を通じて、企業の生物多様性に配慮した活動を進め、京都市全体で持続可能な社会を作ることを目指しています。

フローチャートにチャレンジ

事業所でできることってある？





知ってみる!

色々な情報を知ること、立派な一つのアクション! 興味のある内容だけでもよいので、まずは情報収集してみましょう。



担い手宣言やメルマガ登録してみよう

メール登録で学習会や観察会などのイベント、セミナーのほか、他の企業の取組も見れます。様々な情報が届くので、興味のある情報を集めてみましょう。

京の生物多様性担い手宣言制度

生物多様性のために取り組みたい行動を宣言いただき、宣言内容に応じた情報を確認できます。

website



担い手宣言
募集中



きょうと生物多様性センター メルマガ会員

イベント情報やセンター事業、生物多様性に関する情報をお届けします。

website



メルマガ会員
募集中



— 登録でイベント情報の発信が可能! (※発信内容に制限がございます。) —



行動してみる!

メール等で得た情報を基に、興味のあるセミナーやイベントに参加してみましょう。思いがけず、協力してもらえる仲間が見つかるかも!



企業向けセミナーやいきものフェスに参加してみよう

行政や団体が開催するイベントやセミナーに参加してみましょう。座学のほか、自然観察会や植物の育成など、実際に体験できるイベントもあります。



企業向けセミナー



きょうと☆いきものフェス!



保全活動してみる!

たくさんの保全活動のうち、やってみたい・気になる活動に参加・実践してみましょう!



保全活動に参加してみよう

聞くのとやるでは大違い! ? 興味のある保全活動に参加してみましょう。
「思った以上に楽しかった」との声も上がるかもしれません。



保全活動の様子



敷地内で植物を育てている様子



寄付も保全活動もしてみる!

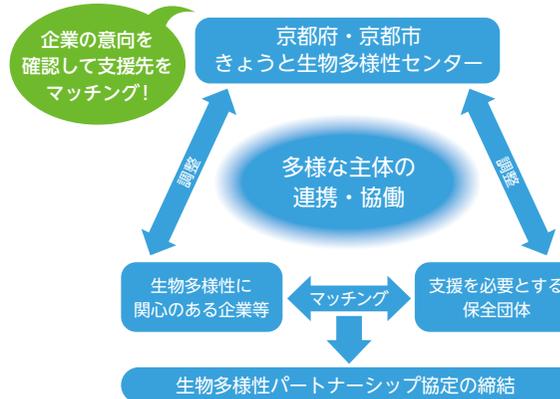
市内で活躍する保全団体を支援してみましょう!
一緒に活動してみると、より有意義な活動に。



資金面でも支援してみよう

保全活動に金銭支援をしてみましょう。

事例：きょうと生物多様性パートナーシップ協定制度



協定に基づき活動した様子

ぎょうと生物多様性
パートナーシップ協定制度



宿泊業や商業施設、医療・福祉施設 など

- ・京都ならではの植物をプランターで育ててみる。
- ・環境に配慮したものを使用したり、サービスの提供に伴い発生する廃棄予定の物の利用を検討してみる。

環境に合った植物を育ててみよう



室内 鉢植えでの栽培



「葵里帰り」の様子

フタバアオイの奉納式
「葵里帰り」に参加し、葵祭の
継承にも貢献できる。育て楽し
むことが祭事や伝統行事につ
ながることも



website



「京の生きもの・文化協働再生プロ
ジェクト認定制度」について

お客様との
コミュニケーション
にも!!

見つけ直しが生物多様性に貢献することにも

事例

社内で使用する製品を
生物多様性に配慮したものに転換してみる

アメニティ提供の絞り込みとカトラリーの環境配慮型製品への転換に
取り組まれています。



事例

社内で廃棄予定の物を利用して新たなものに生まれ変わらせる

カフェから出たコーヒーかすを、高等学校と連携しキノコ栽培に利用
されています。



コーヒーかすからキノコが生える様子

製造業 など

製品の原料となる植物の保全や環境に配慮した商品の開発、敷地内で
生きものの住処になる場所を造れないか検討してみる。

事例

生物多様性に配慮した商品開発に取り組んでみる

植物を剪定する際に出た不要な葉を原料とした商品開発や、植物を
店頭で展示し育成に取り組みられています。



植物の店頭での展示

事例

敷地内に生きものが住める環境を造ってみる

敷地内に雨を一時貯水する「雨庭」を設置し、環境に合う植物を配置
することで、生きものの住処を拡大されています。



雨庭の様子

学校

将来を担う子どもたちが、生物多様性の大切さを感じる・考えることはとても重要なこと。

生きもの観察を通して自然の大切さを伝えてみる

地域生きもの探偵団

京都市立小学校が授業において自然観察を実施する際に、専門家を派遣して児童に多様な生きものたちのつながりなどを解説しています。

website



地域生きもの探偵団の様子

生きもの調査や清掃活動を通して自然の大切さを知ってもらう

事例

近隣で生きもの調査をしてみよう

市内の高等学校では、地域の方や大学生、小学生と共に生物環境調査が行われています。年ごとにテーマを設定しつつ、調査研究を継続されています。

事例

近隣の清掃活動に参加してみる

市内の小中学校では、人と生きものに良い環境づくりを目指して、地域の方々が主催する清掃活動への参加やポイ捨てごみを減らすための啓発看板を設置されています。



河川清掃の様子



設置した啓発看板

企業が取り組む意味

生物多様性への配慮・対応が、企業の評価につながり始めています。新たなビジネスチャンスとしても、事業所における生物多様性に対する取組が注目されています。事業をより良くするきっかけとして、小さなことから生態系を保全・再生する取組にチャレンジしてはいかがでしょうか。京都の豊かな自然を次世代へつなぐために、皆様のご参加をお待ちしております。

保全活動先紹介

市内では、様々な団体・企業等が活動しています。



魚道の設置



希少植物の保全

京・生きものミュージアム

活動団体一覧

website



きょうと生物多様性センター

活動団体一覧

website



●きょうと生物多様性センター

【実施していること】 企業と保全団体をつなげるコーディネート等

【問 合 せ 先】 TEL：090-4496-3887 MAIL：contact@kyotobdc.jp

website



【本 部 オ フ ィ ス】 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 京都府立植物園 植物園会館 2階

【交 流 オ フ ィ ス】 〒606-8511 京都市左京区松ヶ崎堂ノ上町7-2 左京区総合庁舎 2階 14番窓口 (相談窓口あり) 開所日：月・水・金曜日 13時～17時(祝日・休日・年末年始を除く)

●京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

【実施していること】 京の生物多様性担い手宣言制度、京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度、きょうと生物多様性パートナーシップ協定制度、地域生きもの探偵団

【問合せ先】

T E L : 075-222-3951

MAIL : k-kyosei@city.kyoto.lg.jp

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

本庁舎1階